



2026年5月7日
株式会社カカクコム

食べログ多言語版アプリ、半年で200万DL達成

——訪日旅行者向けグルメ検索アプリ1位を獲得 ※1

「現場の外国語対応不要」「電話対応の負担なし」「ノーショー対策済み」で飲食店事業者のインバウンド集客を支援

株式会社カカクコム（東京都渋谷区 代表取締役社長：村上 敦浩）が運営するレストラン検索・予約サービス「食べログ（<https://tabelog.com/en/>）」は、訪日旅行者向け多言語版スマートフォンアプリ（iOS/Android）が、リリースからわずか半年で累計200万ダウンロードを達成 ※2）したことをお知らせいたします。

本アプリは、台湾・香港・韓国・米国において「訪日旅行者向けグルメ検索アプリ ダウンロード数」にて1位 ※1）を獲得。全国7万店以上 ※3）が対応するオンライン即時予約により、飲食店事業者は外国語の接客・電話対応の負担なく、スムーズなインバウンド集客を実現できます。

アプリ詳細ページ（英語）：<https://tabelog.com/en/tabelog-multilingual-app/>



—— Key Facts ——

- 累計ダウンロード数：200万（半年で達成/※2）
- ネット予約対応店舗：全国7万店以上 ※3）
- 対応言語：英語・中国語（繁体字）・韓国語
- 訪日旅行者が選ぶ日本のグルメ検索アプリ ダウンロード数：1位 ※1）

200万ダウンロード達成の背景——「ローカル体験」需要の高まり

近年、訪日旅行者のニーズは、名所めぐりなどの定番観光に加え、街歩きやショッピング、地酒を楽しむといった日本の日常や文化を幅広く体験するスタイルへと広がっています（※4）。中でも、訪日旅行者の関心が極めて高い「食」においては、単に日本食を食べるだけでなく、日本のユーザーが日常的に通い、高く評価している「本当においしい店」を自ら探して訪れる傾向が見られます。

食ベログの多言語版アプリは、日本のユーザーによるリアルな口コミ・写真をベースに、こうした「現地の人が通う店」を探せる点が訪日旅行者から高く支持されています。

さらに、旅行中に便利な「所在地周辺の検索」や「保存リスト」、「予約が多い順への並び替え」機能など、訪日旅行者に最適化された直感的な操作性（UX）も利用拡大を後押ししています。「訪日旅行者が選ぶ 日本のグルメ検索アプリ」のダウンロード数ランキングにおいても1位（※1）を獲得するなど、日本旅行におけるお店探し的手段として広く利用されています。

■ 飲食店事業者がインバウンド集客で直面する「3つの壁」を解消

本アプリの利用拡大により、飲食店事業者は新たな手間やコストをかけることなく、インバウンド集客を実現できます。

1つ目の壁：言語

店舗情報・メニュー・口コミを自動翻訳。現場の外国語対応は一切不要

店舗情報やメニュー、ユーザーの口コミを英語・中国語（繁体字）・韓国語に自動翻訳して表示。「外国語のサイトやメニューを用意できない」「外国語での接客に不安がある」という飲食店事業者でも、情報伝達がスムーズに行え、現場の負担を大幅に軽減します。

2つ目の壁：新たな投資・準備

追加の初期投資は不要。「日本のユーザーによるリアルな評価」がそのまま訪日旅行者の受け入れを後押し

インバウンド動向は予測が難しい部分も多く、訪日旅行者に合わせた情報整備など、新たな準備に手間や費用をかけることは飲食店事業者にとって大きなハードルとなります。食ベログには国内ユーザーからのリアルな口コミや写真がすでに蓄積されており、それが「現地の人が通う店」を探す訪日旅行者にとっての信頼できる情報源として多言語化されています。そのため、飲食店側が新たな投資を行うことなく、海外のお客様を迎え入れることに繋がります。

3つ目の壁：ノーショー（無断キャンセル）

クレジットカード登録必須+電話対応不要のオンライン即時予約（※5）

インバウンド受け入れにおいて現場の特に深刻な課題の一つとなっているのが、「ノーショー（無断キャンセル）」への不安です。本アプリでは、予約時にクレジットカード登録を必須化し、飲食店事業者が安心して海外のお客様を迎えられる仕組みを構築しました。さらに、スマホ完結のオンライン

予約により、これまで負担となっていた外国語での電話応対も不要に。現在、全国7万店以上（※3）がこのリスク低減型の予約システムを活用しています。

■今後の展望——オーバーツーリズム緩和と地域経済への貢献

食ベログは今後も、インバウンド集客を強化したい飲食店事業者と、日本のリアルな食体験を求める訪日旅行者の最適なマッチングを促進してまいります。

旅行者が定番観光地だけでなく全国各地の多様な飲食店へ足を運ぶきっかけを創出することで、特定エリアへの集中によるオーバーツーリズムの緩和に寄与するとともに、日本の外食産業のさらなる発展と地域経済の活性化に貢献してまいります。



（※1）2025年11月/AppTweak調べ。調査対象エリア（台湾・香港・韓国・米国）のApp StoreおよびGoogle Playにおける「フード&ドリンク（レストラン&カフェ）」および「トラベル&ナビゲーション（トリッププランナー）」カテゴリのダウンロード数を合算。「日本のグルメ検索アプリ」として比較

出典：AppTweak (<https://www.apptweak.com>)

（※2）2026年4月30日時点

（※3）2026年5月7日現在

（※4）出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」。訪日中の活動として「日本食を食べる」「繁華街の街歩き」「ショッピング」「日本の酒を飲む」などが上位を占め、日本の日常体験や文化への関心が高い

（※5）予約成立時には、ユーザー（予約者）に所定のシステム利用料が別途発生します

【食ベログ 概要】

外食体験を豊かにするレストラン検索・予約サービス。掲載店舗数は89万店以上。お店が発信するこだわり情報やユーザーが投稿した口コミ・写真など、レストランに関する豊富な情報から、さまざまな視点で目的に合ったお店が探せます。またいつでもどこからでも、簡単に空席確認やネット予約ができます。

- ・食ベログについて：<https://tabelog.com/help/beginner/>
- ・点数・ランキングについて：<https://tabelog.com/help/score/>
- ・口コミ・ランキングに対する取り組み：<https://tabelog.com/help/policy/>
- ・食ベログアプリについて：https://tabelog.com/appli_campaign

2026年5月現在の掲載レストラン数は約89万件、口コミ投稿数は約9,137万件。

アクセス状況：月間利用者数 1億175万人、月間総PV 24億6,234万PV（2025年12月実績）。

（デバイス別の月間利用者数）スマートフォン：8,336万人 パソコン：1,839万人

※月間利用者数の計測方法について：

サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた利用者数です（特定のブラウザ、OS等によっては一定期間経過後に再訪した利用者を重複計測する場合があります）。モバイル端末のウェブページ高速表示に伴う利用者数の重複や、第三者による自動収集プログラムなどの機械的なアクセスについては可能な限り排除して計測しています。なお、食ベログにおいては、2022年2月をもってAMP（Accelerated Mobile Pages）対応を終了いたしました。

<公式SNSアカウント(海外版)>

- ・Facebook：<https://www.facebook.com/TabelogJapanbyLocals/>
- ・Instagram：https://www.instagram.com/tabelog_japanbylocals/?hl=ja
- ・TikTok：https://www.tiktok.com/@tabelog_japanbylocals/
- ・YouTube：https://www.youtube.com/@Tabelog_JapanbyLocals/

<多言語版サービス(Web版)>

- ・英語：<https://tabelog.com/en/>
- ・中国語
簡体字：<https://tabelog.com/cn/>
繁体字：<https://tabelog.com/tw/>
- ・韓国語：<https://tabelog.com/kr/>

【株式会社カカコム 会社概要】

所在地：東京都渋谷区恵比寿南3丁目5番地7 デジタルゲートビル

代表取締役：村上 敦浩

事業内容：サイト・アプリの企画運営、各種プラットフォームの提供

当社運営サイト：<https://corporate.kakaku.com/service>